

高校世界史プリント（過去問類似）

中世（諸地域の交流） No.1

名前

得点

/10

問1 バルカン半島に定住した南スラブ系のセルビア人は、隣接する東ローマ帝国の影響下でキリスト教を受容した。彼らが受容し、その後の民族的アイデンティティの基盤となったキリスト教の宗派（教派）は何か。（2013年 全国公立入試 類似）

1. ロシア正教 2. カルヴァン派 3. ギリシア正教 4. ネストリウス派

問2 ジャワ島で古くから発達し、インド由来の叙事詩『マハーバーラタ』や『ラーマーヤナ』などを題材として演じられる、伝統的な影絵芝居を何というか。（2014年 全国公立入試 類似）

1. パロン 2. ワヤン 3. レゴン 4. ケチャ

問3 13世紀から14世紀にかけて、駅伝制（ジャムチ）の整備などによって陸路と海路を結ぶ広大な交易ネットワークを構築し、西アジア産のコバルト顔料が中国にもたらされて新たな陶磁器技術が誕生するなど、ユーラシア規模の東西文化交流を促進した帝国は何か。（2023年 全国公立入試 類似）

1. オスマン帝国 2. ティムール帝国 3. モンゴル帝国 4. ムガル帝国

問4 4世紀末にテオドシウス帝の死後、地中海世界を支配していた帝国が東西に分裂した。この分裂の後、ギリシア地域を支配下に置いた帝国は何か。（2009年 全国公立入試 類似）

1. 東ローマ帝国 2. ローマ帝国 3. 西ローマ帝国 4. 神聖ローマ帝国

問5 唐の存続期間（618年～907年）には、ユーラシア各地で様々な国家の興亡や衝突が見られた。このうち、西方におけるウマイヤ朝の成立（661年）より後、東スラヴ人の地域にキエフ公国が建国される（9世紀後半）より前の時期に、中央アジアの領有をめぐる唐がアッバース朝と衝突した戦いは何か。（2013年 全国公立入試 類似）

1. タラス河畔の戦い 2. カルカ河畔の戦い 3. レグニツァの戦い 4. プアティエの戦い

問6 8世紀前半に活躍した修道士によって著され、アングル人やサクソン人のブリテン島への渡来や、同島におけるキリスト教の受容過程を記録した、イギリス歴史学の基本史料とされる著作は何か。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 神学大全 2. 英国民教会史 3. 教会法大全 4. 対異教徒大全

問7 7世紀の東ローマ（ビザンツ）帝国において、ササン朝やイスラーム勢力などの外敵の侵入に対抗するために導入された、地方の司令官に軍事権と行政権を兼ねさせ、農民に土地を与える代わりに兵役を義務づけた地方統治制度を何というか。（2016年 全国公立入試 類似）

1. 行省制度 2. 郡県制度 3. 軍管区制 4. 郡国制度

問8 15世紀にマレー半島南部に成立したある港市国家は、中継貿易で繁栄する中で国王がイスラームを受容し、東南アジアにおけるイスラーム化の拠点となった。16世紀初頭にポルトガルによって征服された、この国家の名称を答えよ。（2024年 全国公立入試 類似）

1. クメール王国 2. マタラム王国 3. アユタヤ王国 4. マラッカ王国

問9 12世紀後半にエジプトでファティマ朝を倒して新たな王朝を創始し、スンナ派の信仰を復活させた人物がいる。彼は1187年にキリスト教勢力を破って聖地エルサレムを奪回し、これに対抗して派遣された第3回十字軍とも戦ったことで知られる。このイスラーム世界の英雄は誰か。（2021年 全国公立入試 類似）

1. サラディン 2. バイバルス 3. アッバース 4. スレイマン

問10 726年に、キリストや聖人の画像を崇拝することを禁じる法令を発布したことで、ゲルマン人への布教に画像を用いていたローマ教会との対立を激化させ、東西キリスト教世界の分裂をもたらす契機を作ったシリア出身のビザンツ皇帝は誰か。（2019年 全国公立入試 類似）

1. レオン5世 2. レオン3世 3. レオン4世 4. レオン6世

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 3 ギリシア正教	バルカン半島に定住した南スラブ系のセルビア人は、東ローマ（ビザンツ）帝国の影響下でギリシア正教（東方正教）を受容した。これに対し、同じ南スラブ系でも西側に位置したクロアチア人やスロヴェニア人は、フランク王国などの影響を受けてローマ＝カトリックを受容した。この宗教的・文化的相違は、のちのバルカン半島の歴史に大きな影響を与えることとなった。
問2	答え 2 ワヤン	ジャワ島やバリ島で伝承されているワヤン（ワヤン・クリ）は、水牛の皮で作られた人形を用いた影絵芝居である。ヒンドゥー教の神話や叙事詩を題材とし、ガムラン音楽の伴奏とともに演じられる。ジャワ島がイスラーム化した後も、民衆の娯楽や儀礼として広く親しまれ続けた。
問3	答え 3 モンゴル帝国	13世紀に成立したこの帝国は、駅伝制（ジャムチ）を整備して陸海にまたがる安全な交通路を確保した。これにより、西アジアのコバルト顔料が中国の景德鎮にもたらされて染付（青花）が誕生するなど、ユーラシア規模での活発な物資や技術の往来が可能となった。
問4	答え 1 東ローマ帝国	395年にテオドシウス帝の死によって帝国が東西に分裂した際、ギリシア地域は東側の帝国の領土となった。この帝国はビザンツ帝国とも呼ばれ、ギリシア古典文化を保存・継承する役割を果たした。一方、西側の帝国（西ローマ帝国）は476年にゲルマン人傭兵隊長オドアケルによって滅ぼされており、5世紀のギリシアが西側の支配下にあったとするのは誤りである。
問5	答え 1 タラス河畔の戦い	唐の存続期間（618年～907年）における出来事の年代順を整理すると、ウマイヤ朝の成立は661年、キエフ公国の建国は9世紀後半（882年頃）である。この中間に位置する751年に、唐の將軍高仙芝率いる軍隊とアッバース朝の軍隊が中央アジアのタラス河畔で衝突した。この戦いにより、唐の捕虜から製紙法がイスラーム世界に伝播することとなった。
問6	答え 2 英国国教会史	ベータが著した『英国国教会史』は、5世紀のゲルマン人渡来から、教皇グレゴリウス1世によるアングル人への布教活動など、ブリテン島におけるキリスト教化と政治的動向を記録した中世イギリス歴史学の傑作である。
問7	答え 3 軍管区制	7世紀のビザンツ帝国では、外敵の侵入に対抗して防衛体制を強化するため、帝国領をいくつかの地区（テマ）に分割し、その司令官に軍事・行政の双方の権限を与える軍管区制（テマ制）が導入された。この制度のもとでは、兵士に土地（屯田）を与えて世襲の兵役を義務づける屯田兵制が並行して実施され、自作農の育成と軍事力の確保が図られた。選拔肢の候補となる「都護府」は唐の周辺民族統治機関、「屬州」は古代ローマの征服地、「藩部」は清の直轄地以外の周辺地域、「ミスル」は初期イスラーム国家が征服地に建設した軍事都市（兵営都市）を指すため、いずれも不適当である。
問8	答え 4 マラッカ王国	マレー半島南部に位置するマラッカは、東西交易の中継地として繁栄した。15世紀に成立したこの国家は、ムスリム商人との結びつきを強める中で国王がイスラームに改宗し、東南アジアにおけるイスラーム受容・布教の中心地となった。その後、1511年にポルトガルによって占領された。南宋の艦隊派遣やスペインによる占領といった記述は誤りである。
問9	答え 1 サラディン	ファティマ朝を倒してアイユーブ朝を創始した人物はサラディン（サラフ・アッディーン）である。彼は1187年にエルサレムを十字軍から奪回し、これに対して派遣されたリチャード1世らの第3回十字軍を退けた。アッバース朝を滅ぼしたのはモンゴル帝国のフラグであり、ヘレニズム文化の形成はアレクサンドロス大王の東方遠征が契機であるため、これらと混同しないよう注意が必要である。
問10	答え 2 レオン3世	シリア出身のビザンツ皇帝であり、イサウリア朝の創始者。イスラーム勢力の侵攻から首都コンスタンティノープルを守り抜いた後、726年に聖像禁止令を發布した。この政策は、聖像（イコン）を用いた布教を進めていたローマ教皇との対立を引き起こし、ローマ教会がフランク王国へと接近する契機となった。